

貧賤敢勿屈、富貴敢勿奢、聽喜勿抃、聽憂勿傷、嗟忠信以奉國、仁愛以顧家、將盡秋竹節、誰語溫樹花、松柏不生、阜蓬蒿可在、麻運譬北叟、馬迷任南指、車慎言忘怨、怒治身遺狹、斜忘想水中、月浮榮風前、花豈如出纏網、奈何斷塵沙、三思而後行、二世殆庶耶、

〔朝野群載一文筆〕書紳辭

紀納言〇長谷雄

靡恃人之知、勿誇己之賢、須懷誠與慎、以思身之全、

〔加賀松雲公上〕松雲公〇前田座右銘

與耀德也、使民忘德於乎鼓腹、奚和帝力、有爲者窮、我從天則、思之不置、子夜于夙、

〔自教鑑〕夫天地に陰陽あれば、人に夫婦あり、ふうふあれば父子あり、父子あれば兄弟あり、兄弟あれば君臣あり、君臣あれば朋友あり、これ自然の道なり、

一凡そ父母は慈と教とを主とし、子は愛と敬とを主とす、

一人の子たる者は、能く父母に事ふる而已にあらず、又我身を慎みて、父母の憂を遺す事なきを

第一とす、古に曰父母はたゞその疾をうれふと、然れば別て疾をつ、しむべし、

一父母います時は遠遊せずといへり、是亦父母の憂をおそれて也、況や一朝の怒りに其身をわ

すれて、其親に及ぼす事やあるべき、

一子をそだつる道は禮義正しく嚴かなるべし、かりそめにも愛に溺れて、ゆるかせになすべからず、

らす、

一子を教るには、幼より善に導き、惡に馴しむべからず、然らば友を擇べし、水は方圓の器に隨ひ、

人は善惡の友によるといふ事、格言なりと知るべし、

一寵愛の子たりといふとも、兄をさし置、弟に家を傳べからず、是によりて國家を亂せし事こそ、

其ためし歴然たれ、